

つばめぐみ 特別号

その①

園内キャンプ

保育園に泊まる! テントを自分たちで張る! つばめ組の大イベントの1つ!
園内キャンプまでに、グループ決めを子どもたちにしてもらいました。

*テントは6つしかないこと。*テントの中にはいる布団は6枚。そこを考えたグループ分けがはじまりました。誰と一緒にのグループが良いのか……。気の合う友だちや、好きな友だちで集まりはじめました。積極的に自分から手をつなぎ、一緒にのグループになろう!! と声をかける子。その誘いにうれしそうに連っていく子。戸惑う子。そんな様子をじーと静かにながめながら、悩み続ける子。……色々なタイプの子どもたち。10分程すると「決めた!!」と、てくるグループもあります。その場で座を待ってもらおうようにしていると、また10分後、「やはり〇〇が抜けて……」等々、急に心変わりする子がでたり……。なかなか決まらず、1回、2回、3回……と、グループ決めの時間を毎日少しずつとり、決めていきました。お休みの子がいると、その子を入れたいと言ってくれるグループもあり、しっかりとその日、その時、いない友だちの事も考えてくれていました。

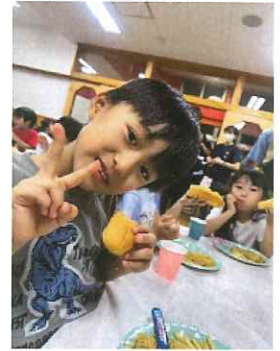
話し合いの中で、揉めて泣いてしまったり、言い合いで喧嘩したり、たくさんありました。それでも、保育園でテントに泊まりたい!! という気持ちがあたから、最後まで諦めず決めることができたのだと思います。「話し合い」からたくさん学んでいます。当日、ドキドキとワクワクで、はじまった園内キャンプ!! 朝からいつも通りずいぶん夕飯やテントの事が気になって、会話の中で話題になったり、グループの先生の戸外に声をかけにいたり、気持ちは高ぶるばかり。夕飯にはカラフルなお皿にのったやきそば、ポテト、パンは大盛り上がり〜自分たちでやきそばパンにしていつも以上にモリモリ、あかりに用意していた分もすべて完食!! さすが……!! その後は、ホケモンからの手紙で宝探しへ!! 暗くなると外もちょっぴり気になりつつも、最後のあたからメダルを全員でGETだぜ!! ぞいた! いつもとは違う暗い園庭も、キャンプファイヤーの火がつくととても神秘的☆そして園長先生から教えてもらった謎の踊り……初めはあけに取られた表情の子どもたちも、すぐに覚えて、大きな声をだし、おもいきり踊り楽しんでいました。その後、花火を見てからシャワーを順番にスリました。女の子たちは自分の髪の毛やお友だちの背中など丁寧に洗ひ、ここの男の子たちは半分遊びつつもダイナミックに洗い合い、いつもはあまりやることのない? ドライヤーで髪の毛を草乾かしてもらい、とってもうれしそう♪ そして自分たちのパジャマに着替え、いざテントへ向かいました……

テントに入ると、更に盛り上がる子どもたち！自分たちで張ったテント！
自分たちだけの秘密基地のように、中々大騒ぎでした。その騒ぎも、
もちろんとこえ先生の一言により、終了をわかえました。それでも気持ち高ぶる
子どもたちも、なかなか寝つけない様子。いつもあつと言う間に寝てしまう
昼寝ですが、テントの中はしばらくの間ドキドキとワクワクが あさまることなかつた
です。きっといつもよりも寝るのが遅かった子もいたのではないかなと思います。
が、しかし！！子どもたちの朝は、意外にも早かったー！！。さてスッキリ起きてくる
子も多かったです。さすがです！！初めての泊まり（1人で）の子も多かったのだ、子ども
たちなりに、グッスリとはいかなかったのかなとも思ってます。よくがんばりました！！
朝になり楽しみにしていた朝食！！事前に担任が考えていたのは、朝だから
あまり食べられないのでは？と、思い、食べやすい菓子パン類にしてみました。
それでも1人2~3個かなと、思い、用意。（薄皮パンのチョコクリーム、ランチパックのたまりなまこ、
スティックパンチョコ）子どもたちに選んで食べてもらっていましたが、まあよく食べること……。パクパク
食べ、あかり〜😊 次々とあかりがやってきました。あかり分はあつと言う間に
なつたりましたとさ……早く起きた子どもたちの食欲には、職員全員びっくりした。

あつちの方のお迎えに、うれしそうに帰っていく子どもたち！初めて保育園に泊まる
ことに、不安もあったことと思います。その不安をのりこえて、また1歩成長したことに
思います。あつちの方々も心西たつたことでしょう。それでもこの園内キャンプに
心良く参加させていただけの事に感謝いたします。又、朝のお迎のこたかか
ありがとうございました。全員が笑顔で帰ることができました！！

あつちも色々とお話ができたのではないかと（ようか。保育園の思い出の1つとして
子どもたちの心の中に残ってくれと うれしいと思っています。

ご理解、ご協力 ありがとうございました！



その②

スポーツフェスタ(運動会)

保育園最後の運動会!! 1人1人に役割りを決め、当日やってもらうことにしました。もちろん、何がやりたい? と、選ぶところから。一番人気は国旗のあげ、上げ。それぞれの役割りには、人数を決め、人数がタリとこは移動してもらえぬか交渉していきました。又、はじめの言葉や、気を付ける事等、マイクでしゃべる役割りの子どもたちは、"何を言うか"を考えて決めてもらいました。自分が言う言葉を、子どもたちの話し合いの中で考えてもらい、練習。保育園の歌や、体操も、しっかり前に出て(山に登って)練習してきました。はぶかしくうまくできなかつたり笑って、照れてできなかつたりもしましたが、少しずつ自信がついて、しっかりとできるようになってきていた子どもたちです。当日の姿、とてもすばらしく涙がでてきそうでした。

綱引き

助人を選び、子どもたちがお願いにいきました。子どもたちの考える"力持ちの人"。そして当日の負けた時のあの悔しそうな表情。勝った時のあの喜び方!! どうしたら勝てるのか?! 負けたくない!! 勝ちたいという気持ち!! 子どもたちの"体重を後ろにも、いく!!"という作戦も、1人1人が力を込めて綱を引、はぶかしくいた姿に表れていました。あつちの人たちと綱引きをやらせると伝え、どうしたら勝てるかを考へはじめた時には、けんた先生とたかみ先生 2人が入れば勝てると思っていた子どもたち……。そこから担任と子どもたちとの話し合いがはじまりました。大人は32人、子どもも32人。子どもたちからは同じ人数だから大丈夫という声も……。しばらく考えて大人の方が力強いよね...と言う子も……。負けちゃう?! というところから少しずつ気付きはじめた子どもたちに更に声をかけました。「保育園の中で一番の力持ちは誰?」しっかりと理由を言える力持ちの先生たちが、子どもたちから選ばれました。そして子どもたちの言葉で、綱引きを手伝ってほしいと伝えにいきました。OKももらうたびに よしっ!! と、カッツポーズ!! 当日も保護者の方々のご理解とご協力で、勝利を収めることができました! ありがとうごさいました! ♪

親子競技、風船リレー

ぶっつけ本番、当日どうなるかわからないのがこの親子競技。大人と子どもで風船をはぶかす、はたして本当に走れるのか……。どのくらい時間がかかるのか……。練習なしでできるのか……。色々考えていましたが、さすがつばめ組親子!! なんの心酉もなくスムーズに風船リレーをこなしてくれました。すばらしい!! 子どもたちもしっかりと上手に風船をはぶかす走ってくれていましたね!! もしかしたら途中で風船が割れてしまうかもしれない!! と思い、夕陽に風船を用意していましたが、そんな心酉は全くなく、上手に割らずに運んでくれました!! すばらしい!! 久しぶりに走ったあつちの方々も夕陽にたのびたのではないのでしょうか?! 楽しんでいただけましたかな?! ご参加 ありがとうごさいました!!

積み木リレー

当日も伝えさせていただきましたが、4月からの“話し合い”の積み重ねにより、今回のリレーの話し合いでの成長も大きく感じました。子どもたちだけでの話し合いも色々な場面で行い、初めは話し合う事、てどういふ事なのか わからない子たちも、多く、何も進まない“話し合い”になることも多々ありました。回数を重ね、担任が入り、内容を整理したり、1人1人の話を聞いていたり、少しづつ手助けしていくことで“話し合う”という事を理解し、子どもたちだけでの話し合いも増えてきました。今回のリレーのチームでの話し合い。1グループに1枚ずつ紙を配り、そこに走る順番や、勝つための作戦を書くように伝えました。それぞれのチームが、しっかりとその事についての話し合いをしていました。話し合いの中での意見の違いもあり、時間がかかると、たチームももちろんありましたが、その日のその時間内で決める事ができていました。そして何より、その時にいないチームのメンバーの事も考え、その子がどう思うか、嫌な気持ちにならないかどうか子どもたちが考えて順番も決めてくれていたことにとてもうれしく思いました。リレーの練習では、全員そろっての練習がなかなかできないこともあり、勝ち負けを決めず“練習”という形でもやりました。積み木をどうやって積み上げ高くなるか、崩れてしまった時の他の子の声かけ、練習を重ねることに変化してました。初めは「あのチームの積み木が崩れたらうちのチームが勝つ!!」と表現する子もいましたが、相手のチームの事を考えるのではなく、自分のチームは、どうやったら勝てるのかも考えた方が気持ちが良いんじゃないかな?と伝えていってました。少しづつ積み木を積む自分のチームの子への応援の声が増えていきました。崩れてしまった子に対しても、崩れそうだと両手でおさえつつがんばって積もうとしている子、積み木が困っている子に対してもチームの子たちから大きな声援が聞こえてきました。「もういいよ!!」「1っおろして!!」「がんばれ!!」応援やアドバイスが自然と子どもたちから出てきたことには感動でした。崩れてしまった事を誰も責めたりはしませんでした。今回のリレーを通して、勝負することを経験として大切ではありましたがそこにこだわることなく、素直に競技を楽しむ事ができていたなと感じました。子どもたちの心の成長が本当に素晴らしいです!! この様な大切な瞬間と一緒にいられたことに感謝です!!

